

2009年3月期

JASDAQ
LISTED COMPANY 2480

自動車金融工学の システム・ロケーション株式会社

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。



システム・ロケーション株式会社
Strengthening Core Competence



1. 2009年3月期 実績

2. 2010年3月期 見通し

3. ビジネスモデル

4. 今後の戦略

当社の基本データ

商号	システム・ロケーション株式会社
URL	http://www.slc.jp
所在地	東京都千代田区五番町12番地1 番町会館4階
創業	平成4年7月1日
代表者	千村 岳彦
事業内容	自動車ファイナンス事業者向け業務支援
資本金	191百万円 (平成21年3月31日 現在)
売上高	1,217百万円 (連結ベース:平成21年3月期)
経常利益	169百万円 (連結ベース:平成21年3月期)
従業員数	グループ総数39名 (平成21年3月31日 現在)
関連会社	ジェイ・コア株式会社 (ヤード業務全般、車両買取事業) SLK SOLUTION Inc. (韓国)
経営理念	『 Co-Creation 』 お客様と共に新たな価値を創造する、 成長と安定を兼ね備えたユニークな企業



1. 2009年3月期 実績

2. 2010年3月期 見通し

3. ビジネスモデル

4. 今後の戦略

連結業績の状況

(単位: 百万円)

	2008年3月期 (07年4月～08年3月)		2009年3月期 (08年4月～09年3月)		前期対比	
	実績(A)	売上比	実績(B)	売上比	(B)-(A)	%
売上高	1,398	100%	1,217	100%	△ 181	87.1%
車両再販業務支援	1,182	84.5%	951	78.1%	△ 231	80.5%
システム支援	216	15.5%	266	21.9%	50	123.1%
売上原価	588	42.1%	555	45.6%	△ 33	94.4%
売上総利益	810	57.9%	662	54.4%	△ 148	81.7%
販売費及び一般管理費	469	33.5%	482	39.6%	13	102.8%
営業利益	341	24.4%	180	14.8%	△ 161	52.8%
経常利益	349	25.0%	169	13.9%	△ 180	48.4%
当期純利益	187	13.4%	93	7.6%	△ 94	49.9%

- 車両再販業務支援 : WEB入札会台数6.4%減 (前年同期66,652台→今期62,412台)
出品料単価の減少(大手顧客の合従連衡)
車両の試用期間の長期化・主要輸出先の輸入規制 前年比 △16.8%
- システム業務支援 : システムレンタル商品の定期収入増
新規開発案件 前年比 +23.1%
- 売上原価 : 外注作業の内製化、車両買取業務の中止 前年比 △5.6%
- 販管費 : 運賃、消耗品、通信費削減
J-SOX関連費用の増加 前年比 +2.8%
- 当期純利益 : 関連会社への投資損失・貸し倒れ引当金の計上
災害損失 前年比 △50.1%

(注) 2009年3月期の車両再販業務支援売上高の前期比80.5%は、前期売上高に営業業務支援売上高を合算した値を比較しています

業績概要② 2009年3月期



システム・ロケーション株式会社
Strengthening Core Competence

1. 2009年3月期 実績

2. 2010年3月期 見通し

3. ビジネスモデル

4. 今後の戦略

財務状況

	2008年3月期		2009年3月	
	実績(A)	構成比	実績(B)	構成比
流動資産	1,880	69.4%	1,307	62.6%
固定資産	829	30.6%	780	37.4%
流動負債	1,111	41.0%	554	26.6%
固定負債	110	4.1%	116	5.6%
株主資本	1,487	54.9%	1,416	67.8%
総資産	2,710	100.0%	2,088	100.0%

(単位: 百万円)

増減 (B)-(A)
△ 573
△ 48
△ 556
5
△ 71
△ 622

設備投資及びキャッシュ・フローの状況

(単位: 百万円)

	2008年3月期	2009年3月
営業活動によるキャッシュ・フロー	226	△ 394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 196	△ 65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 113	△ 110
現金及び現金同等物の期末残高	1,679	1,109
設備投資額	33	55
減価償却費	35	40

- **流動資産**
 - ・ 現預金の減少 (621百万円)
- **流動負債**
 - ・ 営業未払金の減少 (447百万円)
- **株主資本**
 - ・ 有価証券評価差額金の減少 (31百万円)
 - ・ 為替換算調整勘定 (△23百万円)
- **営業活動によるキャッシュ・フロー**
 - ・ 税金等調整前当期純利益 (166百万円)
 - ・ 仕入れ債務の減少額 (444百万円)
 - ・ 法人税等の支払額 (175百万円)
- **投資活動によるキャッシュ・フロー**
 - ・ 投資有価証券の売却による収入 (101百万円)
 - ・ 固定資産の取得に伴う支出 (136百万円)
- **財務活動によるキャッシュ・フロー**
 - ・ 配当金支払いに伴う支出 (106百万円)
- **設備投資**
 - ・ 名古屋ヤード移転に伴うもの
 - ・ データセンターハードウェア購入費用

業績概要③ 2009年3月期 要因分析



システム・ロケーション株式会社
Strengthening Core Competence

1. 2009年3月期 実績

2. 2010年3月期 見通し

3. ビジネスモデル

4. 今後の戦略

リーマンショック以降の
経済減速に伴い計画修正

2009年3月期上期計画実績比較

(単位: 百万円)

	% 既計画	% 実績	計画比 (%)
車両再販業務支援	528	539	102.1
システム支援	141	105	74.5
売上高	669	644	96.3
車両再販業務支援	41.5% 219	43.4% 234	106.8
システム支援	55.3% 78	39.0% 41	52.6
売上原価	44.4% 297	42.7% 275	92.6
販売費及び一般管理費	251	240	95.6

※売上原価の左肩数値は原価率を表します

★ 売上高

- 再販業務支援
Web入札会台数 975台減
売上微増 ⇒ 買取SPOT案件の寄与
- システム業務支援
新システム商品の立ち上がり遅れ

★ 売上原価

- 再販業務支援原価率
計画対比2.1ポイント増
→ 買取SPOT案件の原価率高
- システム業務支援原価率
計画対比16.3ポイント減
→ 売上未達にともなう原価減

★ 販売費及び一般管理費

- 主に旅費交通費、業務委託費で
計画対比減

2009年連結業績計画比較

(単位: 百万円)

	(A) 既計画	(B) 修正計画	計画比較 (%)
車両再販業務支援	1,025	960	93.7
システム支援	375	250	66.7
売上高	1,400	1,210	86.4
車両再販業務支援	42.4% 435	47.2% 453	104.1
システム支援	43.7% 164	36.0% 90	54.9
売上原価	42.8% 599	44.9% 543	90.7
販売費及び一般管理費	501	490	97.8

※売上原価の左肩数値は原価率を表します

修正計画との
比較

(C) 2009年3月期 実績	修正計画比 (%)
951	99.0
266	106.4
1,217	100.6
47.5% 452	99.8
38.7% 103	114.4
555	102.2
482	98.4

業績概要④ 2010年3月期 見通し



システム・ロケーション株式会社
Strengthening Core Competence

1. 2009年3月期 実績

2. 2010年3月期 見通し

3. ビジネスモデル

4. 今後の戦略

2010年3月期 業績見通し

	2009年3月期(実績)		
	% 上期	% 下期	% 通期
売上高	644	573	1,217
車両再販業務支援	83.7% 539	71.9% 412	78.1% 951
システム支援	16.3% 105	28.1% 161	21.9% 266
売上原価	42.7% 275	48.9% 280	45.6% 555
車両再販業務支援	43.4% 234	52.9% 218	47.5% 452
システム支援	39.0% 41	38.5% 62	38.7% 103
売上総利益	369	293	662
車両再販業務支援	305	194	499
システム支援	64	99	163
販売費及び一般管理費	37.3% 240	42.2% 242	39.6% 482
営業利益	20.0% 129	8.9% 51	14.8% 180
経常利益	16.3% 105	11.2% 64	13.9% 169
当期純利益	8.9% 57	6.3% 36	7.6% 93
オークション台数	34,190	28,222	62,412

※売上高の左肩数値は売上構成比

※売上原価の左肩数値は原価率

※販売費及び一般管理費・営業利益・経常利益・当期純利益は対売上高比

2010年3月期(計画)		
% 上期実績	% 下期見込	% 通期
532	487	1,019
72.9% 388	63.9% 311	68.6% 699
27.1% 144	36.1% 176	31.4% 320
49.6% 264	53.0% 258	51.2% 522
49.5% 192	58.5% 182	53.5% 374
50.0% 72	43.2% 76	46.3% 148
268	229	497
196	129	325
72	100	172
44.9% 239	46.5% 226	45.6% 465
5.5% 29	0.6% 3	3.1% 32
5.3% 28	△ 0.4% △ 2	2.6% 26
1.5% 8	△ 0.2% △ 1	0.7% 7
26,191	23,809	50,000

(単位: 百万円)

増減		
上期	下期	通期
△ 112	△ 86	△ 198
△ 151	△ 101	△ 252
39	15	54
△ 11	△ 22	△ 33
△ 42	△ 36	△ 78
31	14	45
△ 101	△ 64	△ 165
△ 109	△ 65	△ 174
8	1	9
△ 1	△ 16	△ 17
△ 100	△ 48	△ 148
△ 77	△ 66	△ 143
△ 49	△ 37	△ 86
△ 7999	△ 4413	△ 12,412

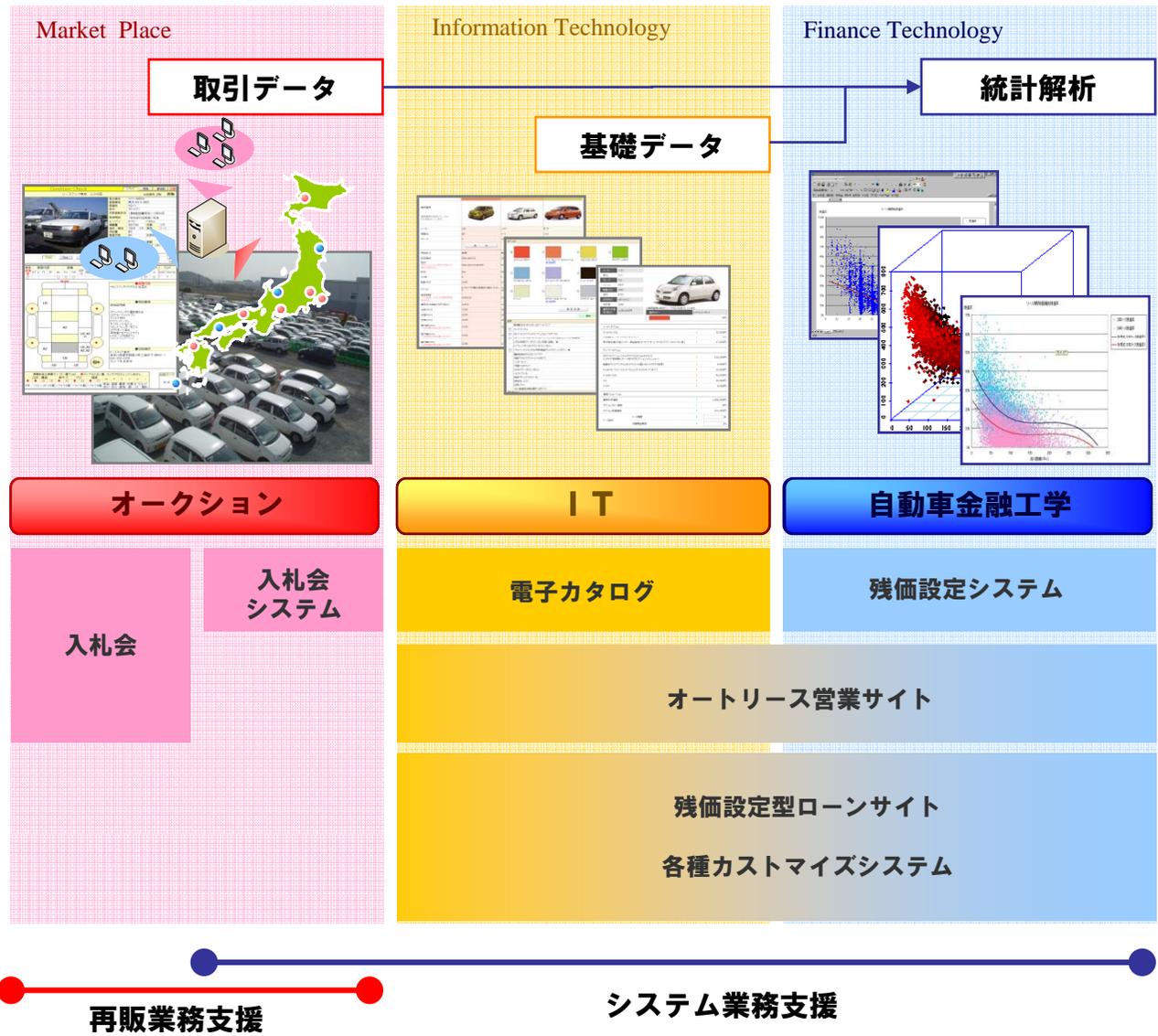
- 再販業務支援 ⇒ WEB入札会台数の大幅減少継続 再販業務支援売上 約30%減
- システム業務支援 ⇒ 中古車残価ローンの定着・クリック課金の増加
新規分野（自動車関連事業者等）への業務支援システムの拡販
↓
システム売上 約20%増
- 販管費 ⇒ 全社コスト削減活動により △ 3%
- 営業利益 ⇒ △ 83%

1. 2009年3月期 実績

2. 2010年3月期 見通し

3. ビジネスモデル

4. 今後の戦略



- メーカー系ファイナンス
大手オートリース会社
- 中小オートリース会社
- 信販会社
- 自動車関連事業者



1. 2009年3月期 実績

2. 2010年3月期 見通し

3. ビジネスモデル

4. 今後の戦略



「現場」「業務」「システム」 自動車再販のトータルソリューション

- 車両再販マーケットの提供
- 独自入札会の業務支援
- WEB入札会システムの提供
- 車両再販における各種手続きの代行
- 出品車両の査定業務
- 入札会出品者と入札会員の仲介業務

■ 入札会



- リースアップ車を中心とした入札会
- 入札会はオークションとは異なり、時間を同期しない競争市場です。
- 世界中のバイヤーが当該出品情報を閲覧し日本国内のエージェントを通して入札します。英語版会員入札システムもあります。
- 全国6箇所の入札会ヤードおよび3箇所のミニデポを展開しています。

■ 入札会システム



- 現物入札会、インターネット入札会を司るトータルシステムです。
- 出品者は車両の入庫情報、査定情報、売却状況等を全てWeb上で確認・処理できます。（**専業大手オートリース会社シェア：71%**）
- バイヤーは車両情報の入手、入札が全てWeb上で可能となります。
- 自社開発のPDAにより全社デジタル査定を実現しています。



1. 2009年3月期 実績

2. 2010年3月期 見通し

3. ビジネスモデル

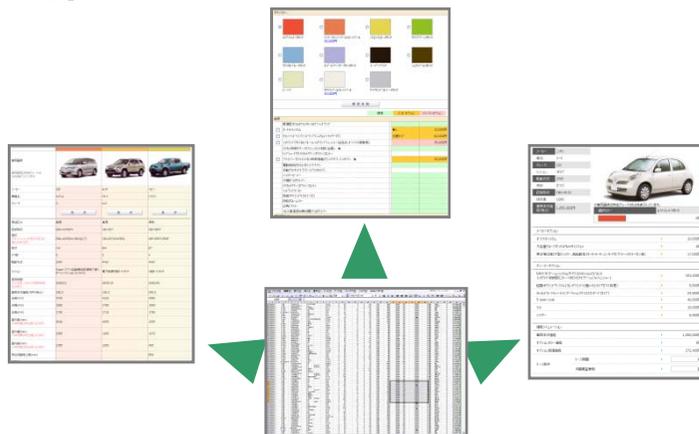
4. 今後の戦略



「データ」「統計解析」「価値算出」
自動車価値分析のエキスパート

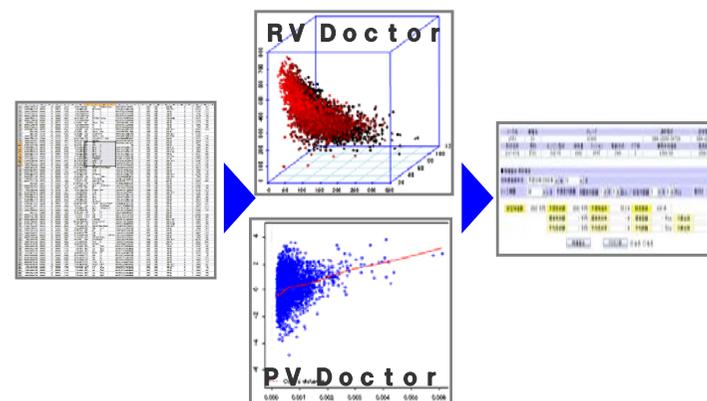
- RV Doctorを活用したファイナンス製品の企画・開発支援
- PV Doctorを活用したファイナンス製品の企画・開発支援
- 車種DBを活用した製品の企画・開発支援

電子カタログ



- 国産車・外国産車96,000グレードを収録するカタログデータベースです。
- オプションの相関関係を保持しているため、あり得ない構成の排他も行えます。
- 金融商品設計時に車種特定ツールとして用いられます。

残価設定システム／中古車価格算出システム



- 過去の膨大な車両取引データを統計的に解析し、高精度な価格予想を行います。
- 車両の将来価値／現在価値を算出します。
- 将来価値はリース、ローン期間満了後の残価設定に用いられます。
- 現在価値は買取、下取り価格の算出、ABLの評価に用いられます。

システム業務支援②（応用商品）



システム・ロケーション株式会社
Strengthening Core Competence

1. 2009年3月期 実績

2. 2010年3月期 見通し

3. ビジネスモデル

4. 今後の戦略



「IT」「ノウハウ」「インテグレーション」
高付加価値事業

- 当社ノウハウを融合したシステム企画・開発
- 車種DB、RV Doctor、PV Doctorを活用したシステムインテグレーション
- 車種データ、相場データを活用した新システムの企画・開発

■ オートリース営業サイト



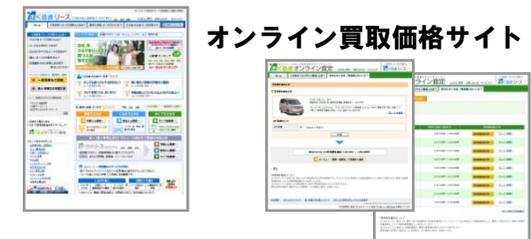
■ 残価設定型ローンサイト 株式会社アプラス 『APLUS Car-navi.com』



■ 各種カスタマイズシステム ABL（動産担保ローンサイト）



■ オートリース比較サイト



- オートリース営業担当者向けのASPサービスです。
- 車種カタログの印刷、車両価値の算出が行えます。
- 自動車業界ニュース等の情報コンテンツも盛り込まれています。
- リース見積り作成時、お客様への提案時、リースバック時の下取り価格算出時等、幅広くお使いいただけます。

- 信販会社クレジット加盟店向け自動車販売システムでは、据置額のシステム算出を実現しております。
- このシステムには、車種DB、RV Doctorが実装されております。
- 据置額の算出機能だけでなく、新車・中古車のカタログ作成、帳票出力、下取参考価格の算出、在庫登録、見積作成など様々な機能が盛り込まれています。

- 車種DB、PV Doctorを組み合わせお客様の業務に応じたカスタマイズ商品を提供しております。
- Oricoストックファイナンスでは、中古車両の資産評価をシステム化し、ABLを実現しております。
- SBIリースでは、マイカーリースの比較サイト、買い取り価格計算サイトを展開しております。

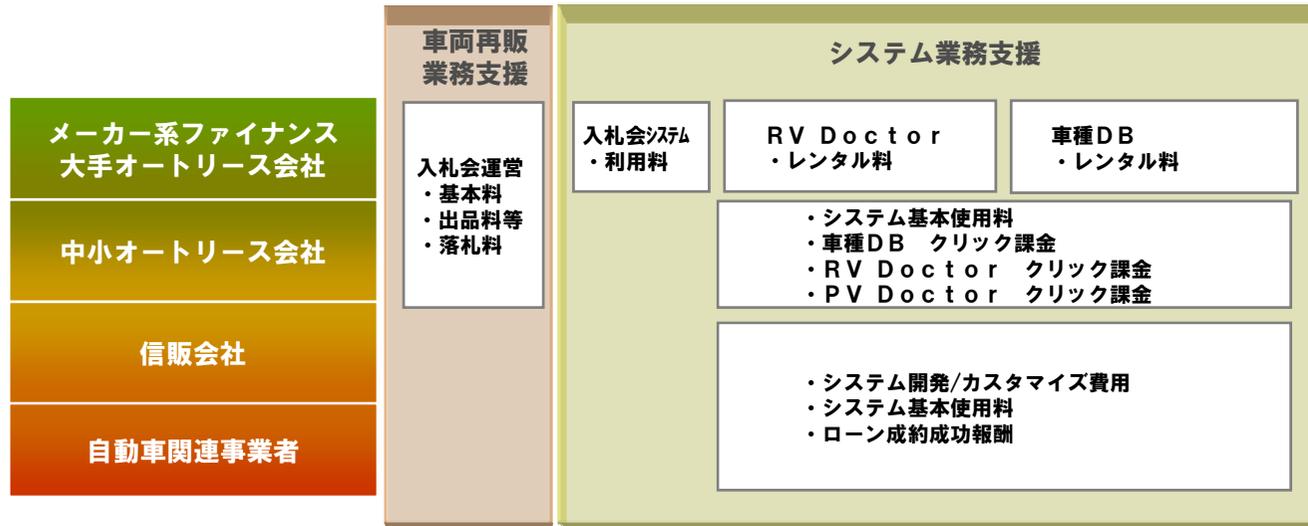


1. 2009年3月期 実績

2. 2010年3月期 見通し

3. ビジネスモデル

4. 今後の戦略



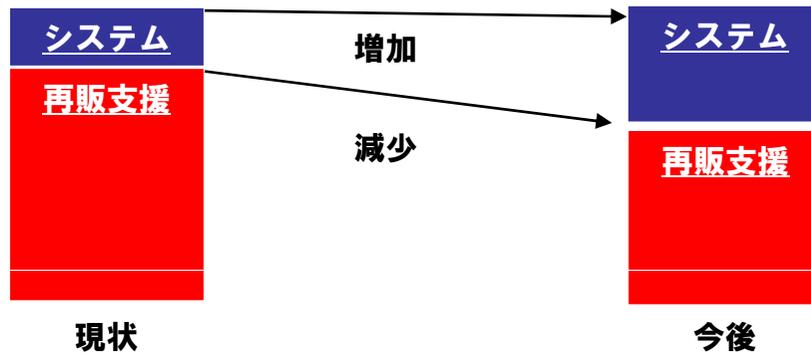


1. 2009年3月期 実績

2. 2010年3月期 見通し

3. ビジネスモデル

4. 今後の戦略



再販業務支援を取り巻く環境

- 景気後退による再リース急増→リースアップ激減
- オートリース業界の再編による価格下落圧力
- 輸出仕向国の輸入規制による輸出台数の大幅減
- 円高による中古車輸出の価格下落

今後の施策

- 入札会ヤードの統合等による原価削減
- 新規顧客の取り込み

システム業務支援を取り巻く環境

- メーカー系ファイナンスによる残価設定型ローンの普及
- 信販会社の残価設定型ローンの採用
- 新車販売から中古車販売への残価設定型ローンの広がり
- 中古車相場変動の増大により次世代残価設定システム
- トラック版残価設定システムのニーズ増大

今後の施策

- 主要プレーヤーへの商品提供の拡大
- 市況回復時に収入が増加する仕掛け作り



1. 2009年3月期 実績

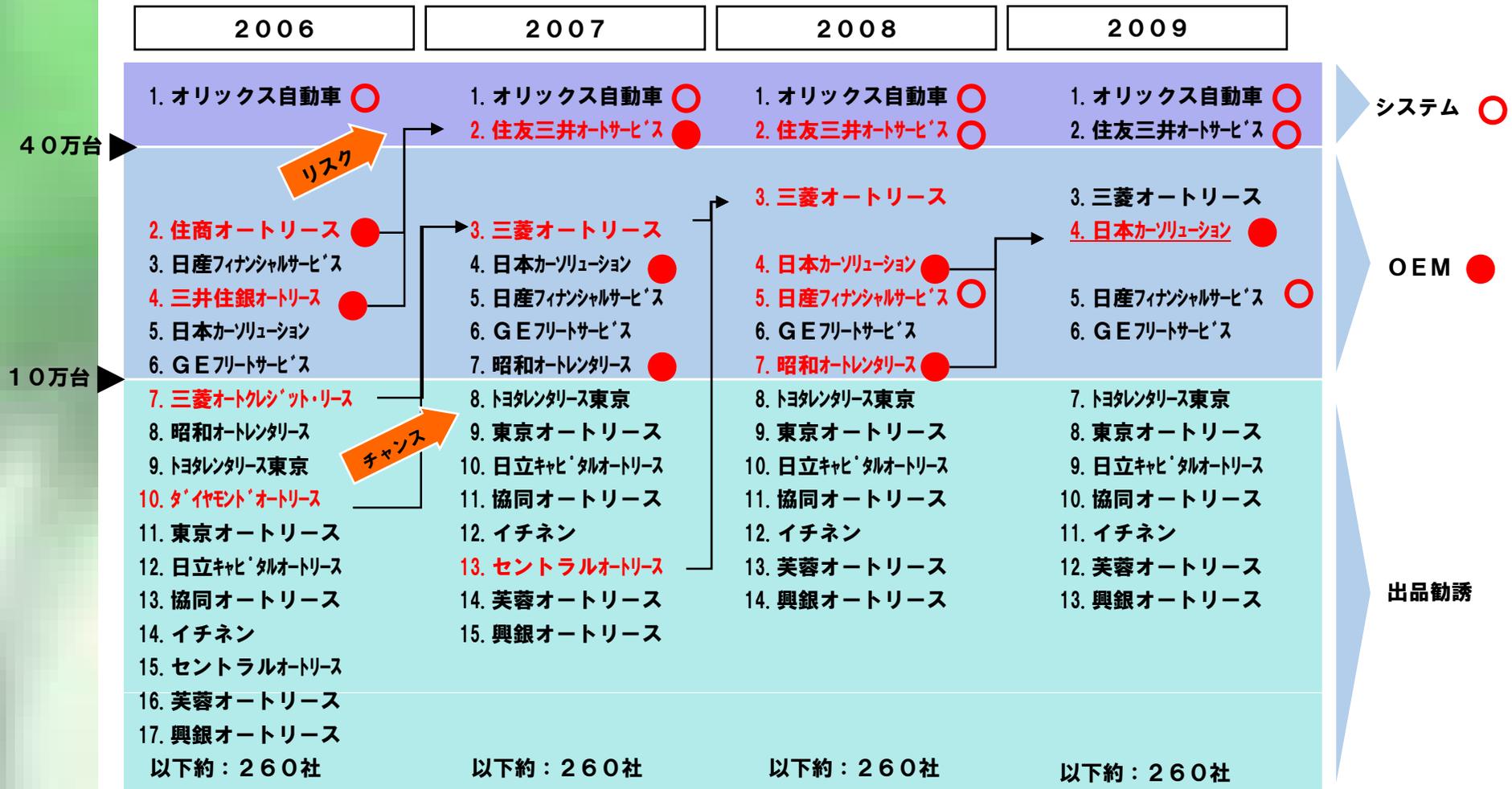
2. 2010年3月期 見通し

3. ビジネスモデル

4. 今後の戦略

市場動向

- ①景気失速→車両費抑制→再リース増加→リースアップ台数伸び悩み→入札会出品台数伸び悩み
- ②オートリース業界再編 大手+大手=単価減少、入札会の自前化 → リスク
中堅+中堅=自社入札会のOEM立上げ → チャンス





1. 2009年3月期 実績
2. 2010年3月期 見通し
3. ビジネスモデル
4. 今後の戦略



■ オートリース営業サイト



対象車両	新車	中古車	当社実績
プレーヤー			
オートリース会社	●		約40社
メーカー系ファイナンス	●		6社
信販会社	●	●	3社
自動車関連事業者	●		5社

事実上の
業界標準

メーカー系ファイナンスによる
残価設定型ローンの本格販売

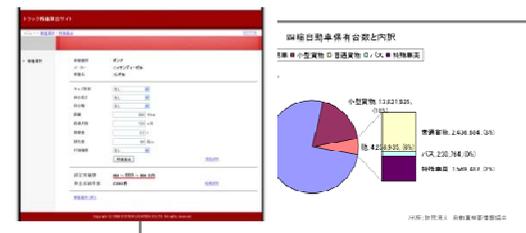
残価に関する消費者認知の向上

各種の残価設定型ファイナンスの普及

主要プレーヤーに商品供給進行中

商品強化と商品供給先拡大

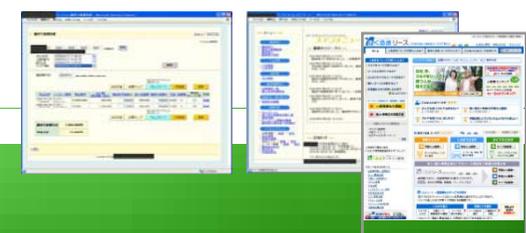
■ トラックRVドクター



■ 残価設定型ローンサイト



■ 各種カスタマイズシステム



クルマ

クルマ以外に応用

- 一般リースアップ物件
- 基礎データ構築
- 統計解析
- 残価予測モデル構築
- ホ'レーティング'リース対応

Market Place

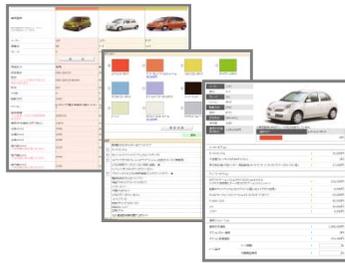
取引データ



オークション

Information Technology

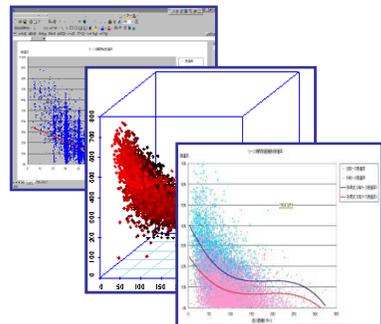
基礎データ



IT

Finance Technology

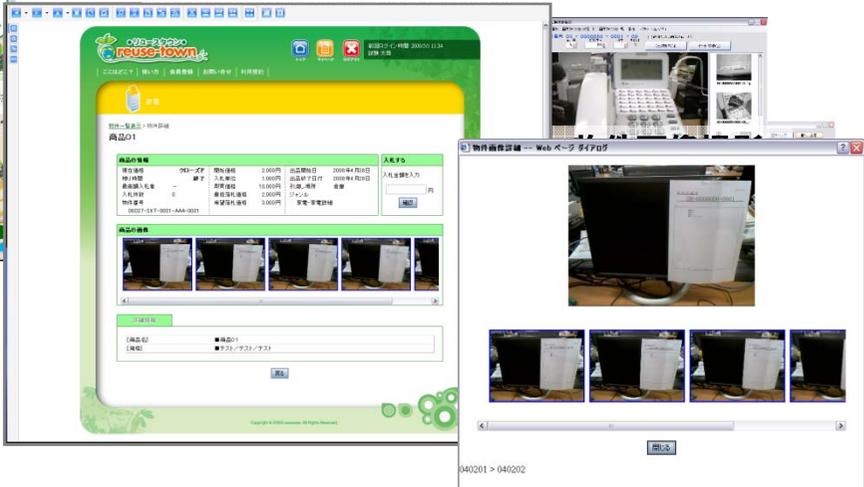
統計解析



自動車金融工学



プロの業者から信頼を得る豊富な情報量



本資料に関するお問い合わせ



システム・ロケーション株式会社
取締役 橋本 祐紀典

TEL : 03 (3234) 1058
E-mail : ir@slc.jp